

市民オープンフォーラム 「これからの生涯学習 センターを考えてみよう」

5/21(土)開催 実施報告

開催状況

日時: 令和4年5月21日(土)
13時半~16時半

会場: 小山市立生涯学習
センター ホール

参加人数: 27名

※内、小山高校1名、小山西高校
3名、白鷗大学2名参加



会場インタビュー・キックオフ宣言

小山西高等学校JRC部の皆さん、白鷗大学の皆さん



講話「あなたは、小山市の生涯学習の未来に、 どんな種を蒔きたいですか」・アイスブレイク



第1ワーク 「年代別の私の“学び”」 (学びたい事、学びたかった事)

ワークのねらい

学ぶことに焦点をあて、人生の様々な
段階で、多様に学びがあることに気づく

ワーク①

長い生涯のそれぞれに、気づきや学びがあるかと思います。このワークでは、さまざまな年代（年齢）ごとに、あなたが学んでみたい事、学んでみたかった事を書いてください。（未来の事は想像で書いてください）

このシートは下書き用です。班の皆さんの意見を集めて、1枚の集約紙にまとめてください。
(具体的に書いてください。マニアックな内容でも構いません)

例：楽しい仕事の見つけかた

10代

20代

例：安全な資産管理のしかた

50代

60代

例：手軽な動画配信のしかた

70代

第1ワーク 「年代別の私の“学び”」 (学びたい事、学びたかった事)



第1ワーク 「年代別の私の“学び”」 (学びたい事、学びたかった事)

年代毎と言うことで、それぞれの参加者の年齢に近いところから順に穴を埋めるように、書き込みが広がっていきました。

班の中でも異年齢の人たちがお互いを補いあいながら、昔のことを思い出したり、未来のことを想像したりして、生涯における学びを「見える化」していきました。

第2ワーク 「あなたが行きたくなるような生涯学習センターの1年間を考える」

ワークのねらい

生涯学習センターという施設の1年間の、自分の事として考え、様々な顔と役割を持つことに気づく

第2ワーク 「あなたが行きたくなるような生涯学習センターの1年間を考える」

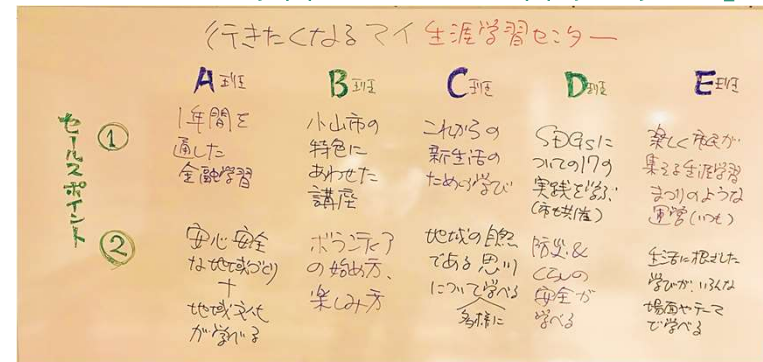


第2ワーク 「あなたが行きたくなるような生涯学習センターの1年間を考える」

それぞれの班に、自分達の思い描くような「マイ生涯学習センター」を作ってもらいました。

班同士が競い合う、といった図式の中で、センターで自分たち自身が、やりたいこと、体験したいことを出し合いながらも、一方で、計画がより魅力的に映るよう、磨き込む姿が見られました。

第2ワーク 「あなたが行きたくなるような生涯学習センターの1年間を考える」

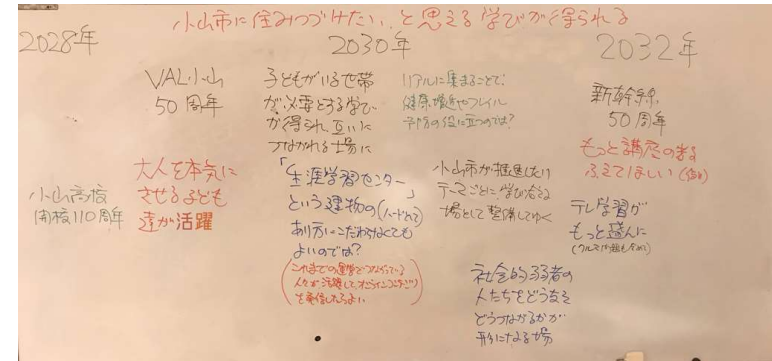


全体ワーク「生涯学習センターとまちづくりの10年」で今日の話振り返る

ワークのねらい

時間とともに変化する地域を想像しながら、生涯学習センターとまちの10年後の未来の姿を考え、生涯学習センターのあり方を考える

全体ワーク「生涯学習センターとまちづくりの10年」で今日の話振り返る



全体ワーク「生涯学習センターとまちづくりの10年」で今日の話振り返る



全体ワーク「生涯学習センターとまちづくりの10年」で今日の話振り返る

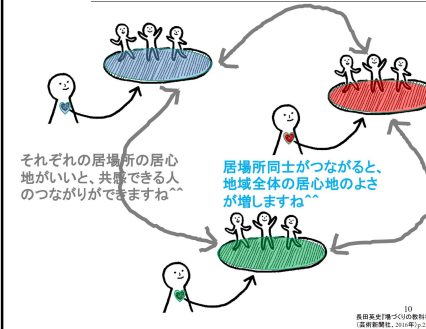
2つのグループワークを通して「学ぶ」ことを改めて問い、また生涯学習センターと言う施設のことについて思いを馳せることで、生涯学習センターの価値を改めて感じていただけたことと思います。

その上での10年、しかも施設としてのセンターだけでなく、街のつながり、すなわち人々のそれぞれの人生と関わる生涯学習センターのあり方を、短い時間でしたが考察いただくことが出来ました。

ふりかえり 陣内先生 「幸せなまちとその居場所づくり」



ふりかえり 陣内先生 「幸せなまちとその居場所づくり」



みんなが「まち」に関心を持ち、
(できる範囲でよいので)
まちに関わるのが理想。

なぜなら、「まち」はみんなの共有財産だから。

だからこそ、
本日のような対話と気づきの場が重要。